

## 事業所職員向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2		・利用人数が多い時は、チーム分けをして人数が分散するよう環境を整えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1		・法令で定められている人員基準は満たしているが、利用者数や個人対応、活動内容によっては職員数が足りないことがあるため、調整が必要と感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2		2	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・年1回実施している。アンケートのみでは意向が確認できない場合があるため、日頃の会話や面談を通して保護者様の意向を確認することが重要と感じる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	・第三者による外部評価は行っていないが、運営委員会で委員の皆さまよりご意見をいただいている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	2	1	・定期的な研修会のほか、スキルアップを図るために個々で研修会へ参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		・計画に沿って達成できるよう、PCDEサイクルで療育を展開した。また、モニタリングでは丁寧な説明を心掛けた。

## 適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		・保護者様から発達検査の結果等を提供していただき、日々の支援の手立てにしている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・主担当が中心となり設定している。打ち合わせや振り返りを行い、反省・課題がある場合は、その都度話し合い、改善に向けて取り組んでいる。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・打ち合わせや振り返りでの意見を踏まえて、個に合わせた支援になるよう相談と工夫で対応するよう努めた。 ・平日のスケジュールはある程度固定化している。活動内容は児童が選択できるようにしている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		・平日や長期休暇のような時期による課題ではなく、日々の姿から新たな課題がある時には、支援方法を見直すようにし共有している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・課題はあるが、できることを探りながら日々の活動を考えるようにした。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・活動内容、役割分担、前日の振り返り内容から課題がある時には、事前に確認をしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・児童の姿を共有したり、課題がある場合は職員間で協議している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・どの職員が見ても理解できるように具体的に記録するようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		・個別支援計画に基づき課題を決め本人の状態に合わせた活動が出来るよう工夫している。様々な障がい特性を理解し、無理のない範囲での活動を行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4			・計画的に進められるよう努めるとともに、無理のない程度での支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	3		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4		・送迎時等に聞いた情報を職員間で共有することができている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	3	・現在のところ、医療的ケアが必要なお子さんの利用は無し。受け入れる場合は、情報共有ができるような体制を整える必要がある。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1		3	・就学児サポート会議での情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4		・対象が小学生までなので、これまで例はないが、他事業所を利用する場合は、積極的に情報共有を行い、スムーズに事業所を移行できるように配慮する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3		・専門機関が開催する研修には積極的に参加し、職員のスキルアップに努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4			・年間計画等で予定を立て実施した。毎月おたよりを配り、知ってもらった経験をした。目的をもって計画的に継続していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2		・施設長、児童発達支援管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・送迎の際には、担当の職員以外にも保護者対応を行っており、その日の様子を伝えたり、家庭での姿について教えていただいている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	3	・担当職員に限らず、保護者様との会話を増やすことから進めていきたい。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	3			

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2	・ 答えられる相談にはその場で対応し、難しい時には振り返りで共有してから後日お伝えした。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4 ・ 保護者様が参加しやすい方法、興味のある学習会を開催できるよう検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	3	・ 保護者様の不満や不安の解消に努めるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		・ 毎月1回すくすくだよりを発行し、活動の様子や行事予定等を発信している。また、必要に応じてメール送信サービス（マチコミ）を活用している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4		・ 個人情報保護法に基づき、個人情報を外に持ち出さないこと、慎重に取り扱うことを徹底している。今後も更に気を付けていく必要がある。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		・ 児童の行動から考えられる気持ちを代弁して共有している。 ・ 個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	・ 今年度は地域の方々にご協力いただき、栽培活動を一緒に取り組むことができた。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	・ 防災や防犯に関することはすくすくだよりを通して周知している。感染症対策は変更があった際、手紙を配布している。 ・ 各マニュアルを策定し、年1回施設内で職員研修を実施している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		・ 毎月1回防災訓練を実施している。戸外活動時やバス乗車時の避難方法等、様々なシチュエーションを検討していく。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・ 制度に基づき研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3		・ 現在、身体拘束を実施せざるを得ない状況なケースはないが、研修を行い、職員間で共有している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3		アレルギー調査票でアレルギーの有無の確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・ 危険な事例があった場合、報告書に記載し、職員会議等を通して職員で共有している。